

平成 29 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市文化会館(岐阜市民会館)	所管課	市民参画部 文化芸術課
所在地	岐阜市美江寺町2丁目6番地		
指定管理者名	一般財団法人 岐阜市公共ホール管理財団		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日(5年間)		
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input checked="" type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	334, 402, 000円(平成29年度、岐阜市文化センターと合算)		
施設の設置目的	市民の文化及び教養の向上と福祉の増進を図るため。		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> ・建築年月:昭和42年2月 ・建築面積:3,148.92㎡、建築延面積:8,265.74㎡ ・大ホール、展示ギャラリー、会議室80、会議室48、多目的ルームA、多目的ルームB、練習スタジオ、和室 		

●利用状況

		H29 上半期	H28下半期	H28 上半期	H27下半期	H27 上半期
利用者数(単位:人)		66,950	58,121	49,793	70,810	38,273
各室稼働状況(%)	大ホール	37.2%	64.4%	32.5%	57.8%	36.4%
	展示ギャラリー	29.7%	33.9%	28.6%	39.1%	26.5%
	会議室80	34.3%	42.9%	37.1%	37.3%	34.1%
	会議室48	73.1%	66.7%	66.9%	67.7%	46.7%
	多目的ルームA	45.1%	47.0%	38.9%	34.8%	29.3%
	多目的ルームB	41.1%	26.2%	35.4%	38.5%	25.1%
	練習スタジオ	53.1%	55.4%	44.0%	28.6%	35.1%
和室	36.0%	21.4%	21.7%	23.0%	32.3%	

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適正に運営されている。 ②職員10人を配置し、業務を適切に遂行している。 ③年間の広報計画に基づき、広報ぎふや、フリーペーパー、さらに有料広告を活用し、積極的な広報活動を実施している。 ④指定管理者が定めた受付マニュアルに基づき、適切に対応している。
自主事業・提案事業	下記自主事業の実施 ①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ②初心者のためのダンスワークショップ ③子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ④松竹大歌舞伎 ⑤音楽の絵本JIVE ⑥市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ⑦ぎふ演劇ワークショップ ⑧高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト ⑨「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ⑩「戯曲セミナー&リーディング発表会」 ⑪春風亭昇太独演会	①市民ジャズ・ビッグバンド「楽市JAZZ楽団」事業 ・4月22日(土)「駅前ライブ」実施 ・4月23日(日)「追加メンバーオーディション」実施 一般4名、学生6名入団 ②初心者のためのダンスワークショップ〜クラシックバレエ編〜 ・7月23日(日) 参加者22人 ③子ども伝統文化体験教室・発表会(和太鼓)&出前講座 ・8月19日(土)、20日(日)「子ども伝統文化体験教室・発表会」実施 参加者27人、発表会60人 ④松竹大歌舞伎 ・9月3日(日) 入場者数 2,614人 ⑤音楽の絵本JIVE ・9月10日(日) 入場者数958人 ⑥市民プロデュース公演応援プロジェクト(公募) ・7月14日(金) 第22回審査会実施 ・7月1日(土) 第21回採択事業 エウロリカ オペラの魅力「オペラにみる愛の形」公演実施 入場者数 178人 ・7月16日(日) 第21回採択事業 「ソリストと合唱、オペレッタコンサート」公演実施 入場者数 457人 ⑦ぎふ演劇ワークショップ ・5月4日(木)〜7日(日)「高校生の部」実施 参加者784人 ⑧高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト ・9月24日(日) 入場者数 1,454人 ⑨「楽市JAZZ楽団」地域貢献事業 ・8月23日(土)「管楽器で参加!夏休みジャズ・ビッグバンド体験教室」実施 参加者26人 ⑩「戯曲セミナー&リーディング発表会」 ・7月から月1, 2回ペースで開催中 受講者26人 ⑪春風亭昇太独演会 ・7月2日(日) 入場者数487人
施設管理	①清掃業務 ②守衛業務 ③受付業務 ④建築物環境衛生管理業務 ⑤エレベーター設備保守点検 ⑥各種点検業務	毎日の日報及び実地調査にて履行状況を確認 ①清掃業務 ・日常清掃(開館前清掃、施設使用後の清掃)について計画通り実施 ・定期清掃(ワックスがけ、ガラス清掃、絨毯清掃)について計画通り実施 ②守衛業務 ・定期巡回(午前5時、午後7時、午後11時)、鍵・扉の開閉業務、照明の点消灯業務、駐車場の管理業務について計画通り実施 ③受付業務 ・毎日午前8時〜午後8時までの受付、案内、接遇、電話対応、簡易な事務補助、OA機器操作補助、催し物掲示板整理業務について計画通り実施 ④建築物環境衛生管理業務 ・貯水槽の清掃、水質検査業務、汚水槽・排水槽の点検清掃業務、病害虫等調査・防除業務について計画通り実施 ⑤エレベーター設備保守点検 ・月1回の点検を実施 ⑥各種点検業務 ・実施計画に基づき、順次実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ・迅速な修繕の実施 ・指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	経年劣化等による故障を受け、速やかに修繕を実施した。 ・第3楽屋雨漏り修繕 ・展示ギャラリー間仕切扉修繕 ・電話交換機蓄電池他取替修繕等 利用者の利便性向上に繋がる修繕を実施した。 ・大ホール搬入口投光器取替修繕 ・大ホールロビーカーペット修繕 ・大ホールノンスリップ取替修繕他
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例及び同施行規則並びに財団規程に基づき、適正に管理運営を行っている。 ②独自の危機管理マニュアルにより、地震や火災、風水害、事故・事件等について、全ての職員が適切に対応できる体制を整え、来館者の安全を守る意識を高めている。 ③当施設の条例及び施行規則や関係法令を遵守し、適正に運営されている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>・7月1日～8月31日までの施設利用者(団体)80団体に「ご利用者カード」への記入を呼び掛け、68団体からの回答を得た。 アンケート質問項目は、「使用会場」「職員の対応」「敏速な対応」「的確な対応」「館内清掃」「備品満足度」「今後も利用したいか」「他施設の候補を考えたか」「当施設を以前から知っていたか」「利用の決め手」「情報媒体」。 ・常時「ご意見箱」とその記入用紙を館内(1階集会所ロビー)に設置。 ・「ご意見受付シート」により、来館者、利用者の意見・要望を把握するよう努めている。</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○ご利用者カード集計結果 回収総数 68枚(回収率85.0%) 「使用会場」大ホール 10.3%、展示ギャラリー 4.4%、会議室80 16.2%、会議室48 22.1%、多目的ルームA 11.8%、多目的ルームB 13.2%、和室 7.4%、練習スタジオ 14.7% 「職員の対応」非常に良い 67.6%、良い 26.5%、普通 4.4%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.5% 「敏速な対応」非常に良い 67.6%、良い 25.0%、普通 5.9%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.5% 「的確な対応」非常に良い 64.7%、良い 27.9%、普通 5.9%、悪い 0%、非常に悪い 0% 無記入 1.5% 「館内清掃」非常に良い 66.2%、良い 20.6%、普通 11.8%、悪い 1.5%、非常に悪い 0% 無記入 0% 「備品満足度」非常に良い 55.9%、良い 25.0%、普通 16.2%、悪い 1.5%、非常に悪い 0% 無記入 1.5% 「今後も利用したいか」思う 97.1%、思わない 0% 無記入 2.9% 「当施設を以前から知っていたか」はい 86.8%、いいえ 7.4% 無記入 5.9% 「他施設の候補を考えたか」考えなかった 38.2%、考えた 57.4%(他施設…ドリームシアター、ワークプラザ、16プラザ、メディアコスモス、岐阜市文化センター、長良川国際会議場) 無記入 4.4% (主な意見) ・駐車場スペースが少ないのが残念です。メディアコスモスに止めないようにと書いてあるのですが、同じ岐阜市の施設なので共有できたらいいと思います。 ・いつも大変お世話になっています。ありがとうございます。今後もよろしく願いいたします。 ・お世話になります。本番頑張ります。</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>利用者から寄せられた意見等に対しては、直接本人に回答するようにしている。窓口対応で利用者と職員が顔の見える関係を築くことが重要と考えているため、アンケート等に記入されないようなご意見や要望なども、コミュニケーションの中から把握し、「ご意見受付シート」を活用して市民会館全体で共有するようにしている。 (主な意見と対応) ・マイクを無料とお伺いしていましたが、拡声装置の代金を確認していなかったようです。予算の件もあり、次回は確認してもらうようにします。 →有料備品の説明が不十分であったこととお詫びするとともに、今後は備品の金額や使用についての説明を徹底する。 ・駐車場が広いとよい。台数を多くとめたい。 →各室ごとに使用台数は決まっているが、大ホールの利用がない場合は空いていたら西側駐車場の利用も可能であることを説明する。 ・wifiの受信が乱れた。(利用者アンケートの「備品満足度」に「悪い」をつけられた団体のご意見) →wifiの電波は、時々電波の使用状況によってつながりにくい状況があることを説明しご理解いただくよう努める。 ・他のイベントと重なって駐車場に困りました。参加者に先に案内できるとよかったです。前もって連絡くださるとそれなりに考える事が出来たと思います。 →他のイベントが重なり混雑する場合は、事前の連絡を心掛け、会館周辺の駐車場のご案内をさせていただきよう努める。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、住民の平等利用の確保をはじめ、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	A	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	文化芸術事業を行っていく上での方針と主な事業計画	・市民の文化芸術への参加・参画の促進、文化芸術の普及・啓発、文化芸術を担う人材の育成、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		市民協働を取り組んでいく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、市民との協働に積極的に取り組んでいるか	S	S	S
		貸館業務・管理業務・舞台業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の文化芸術振興の拠点施設として、文化芸術に関する相談、助言など付加価値のある貸館業務に取り組むとともに、安全な管理業務、舞台業務の運営につとめているか	A	A	A
		既存業務の改善、工夫又は新規の魅力的な提案の有無	・業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策(利用者に対するサービスの向上)など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・新規利用者の獲得、リピーター確保による利用促進を図っているか	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制	・施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	A	A	A
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・管理経費は効率的かつ適切に使用されているか ・省エネ管理マニュアルなどをもとに、光熱水費削減に努めているか ・収支予算と実績とは大きく離れていないか	A	A	A
		スタッフ配置の妥当性(効率的な管理運営を図るための体制など)	・職員の人材育成に努め、効果的かつ適切な運営体制であるか ・文化センター及び市民会館を合わせた管理運営を効果的に行っているか	A	A	A
区分評価			A			
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	スタッフの管理、監督体制など	・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか ・より良いサービス、活動を提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができていますか	A	A	A
		スタッフの人材育成の方策	・業務に必要な研修を実施し、資質の向上に努めているか	A	A	A
		リスクへの対応方策・能力(利用者の安全確保策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制が整っており、実際発生した際には対応ができたか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・施設管理業務を行う上での方針に沿った修繕を行っているか ・各種機械設備の保守点検、危機管理体制の整備、あるいは安全に十分に留意した管理運営を行っているか	A	A	A
区分評価			A			
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の文化団体等の育成	・地元のアーティストを活用するなどし、文化団体等の育成に努めているか	S	S	S
		その他地元への貢献に関すること	・利用者以外の市民の問い合わせ等に対応しているか。また、地域の文化芸術を通じた地域振興に取り組んでいるか ・まちのにぎわいへの地域貢献しているか	A	A	A
		区分評価			S	

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>1. 貸し館業務 市民会館大ホールは、昨年度上半期と比べて利用日数が2日増、利用額83万円増であり、リピーターは堅調な動きであった。利用額に関しては、昨年度実施されなかった子供向けの有料イベントが2日間開催され、1日2回公演であったため、本番区分が午前・午後の2区分にまたがったことが主な要因として、利用額も大幅増となった。今後もさらなる利用者確保のため、これまでに利用実績がある保険会社の顧客向け招待事業や表彰大会等の利用を想定し、保険会社への営業活動を実施していきたい。会議室48及び多目的ルームA・Bについては、毎月継続的に利用している企業の面接やセミナーの利用が昨年度より増加した。新規利用者も9団体あり、利用日数、利用額は増加した。 また、8月29日(火)・30日(水)に開催した利用相談会では、保険会社や地元文化団体、学校などを中心に営業を実施した結果、9団体17名が来館された。利用者アンケートにも市民会館を知ったきっかけが利用相談会・見学会と答えている団体が2団体あり、利用相談会開催の効果が表れた結果になった。</p> <p>2. 施設管理 耐震補強工事は完了したものの、施設は築50年以上になっており、常日頃からチェックとメンテナンスが欠かせない状況である。利用者の利便性を高め、気持ちよく使っていただけるよう、下記のような対応を取った。 ①大ホール搬入口の投光器が経年劣化により点灯しなくなったため、白熱灯からLEDランプに交換し、機能回復と省エネ化を図った。 ②大ホール2階客席階段の滑り止めスリッパが経年劣化により剥がれ破損していたため、視認しやすい色のスリッパに取り換えたことで、安全に昇り降りができるようにした。 ③施設の安全管理に必要な改修工事については、優先順位を決定して、すぐに岐阜市に提案するなど、岐阜市と緊密な連携を取り、施設運営をしている。 ④省エネマニュアルに基づき夏場の冷房温度の設定を管理し、冷房費の節減に努めた。また、電力量のピークを管理するデマンド計を導入しており、電気使用量の適正な管理で、電気料金の節約に努めた。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業による地域貢献 ①「楽市JAZZ楽団」事業、及び同楽団による地域貢献事業では、音楽監督である野々田、粥川両氏に織田信長公岐阜入城・岐阜命名450年記念冠事業として、織田信長公と濃姫をモチーフとしたオリジナル曲の作曲を依頼した(「夢幻～信長と濃姫～」と命名)。11月のさんぽde野外ライブtoスペシャルライブ、1月の第10回ぎふジャズフェスティバルで披露するため練習に励んでいる。また、夏には小学生～高校生対象の「夏休みジャズ・ビッグバンド体験教室」を実施し、子どもたちがジャズの特徴や演奏のコツを学べる貴重な機会を提供した。 ②「子ども伝統文化体験教室」では、触れる機会の少ない和太鼓に触れ、演奏を学んでいただくとともに、一緒に練習した友だちと舞台上に立つという貴重な経験を提供した。 ③「ぎふアジア映画祭」では、8月10日に市民スタッフとともに、柳ヶ瀬商店街でポスターやチラシを各商店などに持って回り、開催の機運を盛り上げ、まちの賑わいづくりに貢献している。 ④「ぎふ演劇ワークショップ」では、高校生の部のワークショップが開催された。演劇・表現活動に興味をもつ高校生を対象に、地元で活躍する劇団員から演劇の基礎を学ぶとともに、学校や所属団体の枠を超えた交流の場を提供した。 ⑤「春風亭昇太独演会」、「音楽の絵本JIVE」、「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」ではチケットが完売し、市民のニーズに応えることができた。また、「音楽の絵本JIVE」では親子で音楽に親しむ貴重な機会を提供することができた。 ⑥「松竹大歌舞伎」公演では、2,000人以上の方に楽しんでいただけた。また日本の伝統文化の継承及び普及のために、市内の小中学生、保護者を招待した。</p>
<p>前回までの意見を 踏まえた取組み状況</p>	<p>1. 取組み状況 28年度下半期には過去の利用団体の掘り起こしや現在の利用団体と同様の団体等への営業について評価をしていただいた。今期は、特に練習スタジオと和室にて市民芸術祭の合唱練習が行われたことだけでなく、NPO団体や文化団体の研修での利用が多かった。また会議室48、多目的ルームA・Bでの企業の面接や文化団体の継続利用がさらに増加したこともあり、利用日数、利用額とも大幅に増えた。 今後も利便性の向上や積極的な営業を行い、より一層の新規団体の獲得に向けて活動していくとともに、一度利用いただいた団体には次回も利用いただけるよう、利用者ニーズを把握した細やかな対応をしていく。</p> <p>2. 貸し館業務・施設管理 28年度下半期には利用者の要望を的確に汲み、利用者を増加させ、継続利用につなげたことについて評価していただいた。その点は、利用者アンケート調査においても、どの項目でも「良い」以上で、「今後も利用したい」の回答が約97%であったことにも表れている。下半期の利用相談会では企業を含め、会館の利用をしなくなった団体にも改めて営業を行う。さらに最近利用が増えている学校の模擬試験や試験関係団体へも利用を働きかける。 施設管理については安全に管理運営されている。今後も引き続き経年劣化等による故障や異常に敏速に対応するため、点検と現状の把握、早目の修繕を実施していく。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 昨年度には、市民のニーズを反映した事業を企画する中で若手層や子どもたちの集客という次世代の育成についてご評価いただいた。今年度も0歳からのコンサート第6弾として「音楽の絵本JIVE」を実施することで、親子でジャズやクラシックに親しむ機会を提供し、チケットは完売という結果を出すことができた。また、「春風亭昇太独演会」についても落語という市民のニーズと合致する事業を実施したことで、チケットは完売となった。その他事業についても「高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト」もチケットが完売、「松竹大歌舞伎」においても例年を大幅に上回るチケットの販売という結果を得ることができ、クラシックや伝統芸能の普及という形で地域の文化振興に貢献している。さらに「初心者のためのダンスワークショップ」では、新たに子どもたちを対象としたダンスというジャンルの普及にも貢献した。</p>

今後の取組み	<p>1. 貸し館業務 貸し館については、会議室80の利用日数、利用団体数とも減少したが、それ以外の施設は好調で全体としての利用料金は増加となった。各室の新規利用者43団体の中には、その後もリピーターとして継続利用している団体もいるため、次回の予約を確認して利用を継続してもらうよう、積極的な営業活動をしていく。また、上半期の利用内容として、特に企業展示、資格試験・事前セミナー、面接、ダンスの稽古場所としての利用が多かったため、次回利用相談会ではその点を重点的にPRをする。</p> <p>2. 施設管理 ①10月中旬から11月中旬にかけてホールの冷温水発生機修繕工事を行う。 ②大ホールの手動式吊り物昇降装置の修繕工事を行う。 ③ヤマハコンサートピアノの全弦張替修繕及びダンパーフェルト張替修繕を行う。 ④来年度に向け、大ホールの音響設備修繕工事等が実施されるよう、岐阜市へ要望していく。</p> <p>3. 市民の劇場・市民ふれあい事業 ①「楽市JAZZ楽団」では、学校への出前コンサートや、イベントを含めた第10回ぎふジャズフェスティバルの実施を準備していく。 ②「子ども伝統文化体験教室・発表会&出前講座」では、11月に市内小学校で能楽出前講座を実施する。 ③「第39回ぎふアジア映画祭」では、10月14日(土)～12月2日(土)にかけて、アジアの9ヶ国13作品を上映し、展示企画や文化講座など特別企画も実施する。また、市民スタッフとともに、広報や当日運営に取り組んでいく。 ④「ぎふ演劇ワークショップ」では、2月に一般の部、3月に中学生の部を開催する。 ⑤「市民スタッフ事業」では、「上を向いて歩こう」の映画上映とうたごえ広場を開催する。また「チャレンジ企画」では、「落語」を切り口に、全日本学生落語選手権「策伝大賞」の優勝者を輩出するなど活躍が目覚ましい地元の岐阜大学落語研究会に出演していた。 ⑥第23回市民プロデュース公演応援プロジェクト「公募」の募集を11月から実施し、審査会を来年1月に開催するための準備をしていく。また、前回採択された11月に開催される事業について支援をしていく。 ⑦「戯曲づくりワークショップ」の講座を月2回ペースで7月から実施し、1月の「優秀短編発表会」に向けて、選出した戯曲を舞台作品に仕上げていく。 ⑧「市民スタッフ育成事業」では、「歌舞伎」「落語」など伝統芸能に深い造詣の深い大学教授の講演や、ボランティアの先進事例を学びに、「扶桑文化会館」へ出張を予定している。</p>
--------	---

●所管課の意見

適切な人員配置及び業務委託により、安全に十分留意した管理運営が行われている。

市民会館は開館して50年を超えているが、事故を含め、施設運営に大きな影響を与える故障などが発生していないのは、日頃からの点検等の賜物である。また、異常を早期発見することで、修繕で終わることができ、円滑な施設運営ができていくことは評価できる。今後は、各機器についてパーツ等の生産中止などが発生してくるから計画的に交換し、施設運営に影響を与えないことを期待する。

稼働率は比較的向上しており、各会議室系でリピーターを確保するとともに新規利用者も獲得しており、他の施設と比べ、古い建物であるが健闘していることは評価できる。会議室の多い岐阜商工会議所が耐震工事を終え、11月からリニューアルオープンすることから、利用者の流出が懸念されるため、利用者定着を図ることを期待する。

指定事業においては、新たに「初心者のためのダンスワークショップ」を開催し、対象を初心者限定とすることで敷居を下げ、新たにダンスの普及に貢献したことは評価できる。また、松竹大歌舞伎においては、高校からインターンシップを受け入れ、当日の受付等の業務に参加し、運営側を体験することで若年層の文化振興に対する意識の高揚を図ることができたと考え、今後も継続し受け入れを期待する。

今後も文化の拠点として、アウトリーチを含め岐阜市の文化を親しむ土壌を培う一翼を担うことを期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

- ・施設の安全に留意した管理がしっかりとされている。
- ・利用者(利用団体も含め)アンケートの結果が良く、悪い点がほとんど無いのは、日頃から利用者の意見を吸収して対応しているからだと思われる。